

はまぎん Global Challenge(経済支援型) 募集要項 (再募集)

1. 趣旨	世界に羽ばたくグローバル人材を育成するため、自らの課題をもって海外へチャレンジする学生を支援します。
2. プログラム概要	経済的に海外渡航が困難だが成績優秀な学生の大学公式プログラムへの参加を支援します。 【学部生対象】
3. 応募要件	次の(1)～(3)に掲げる要件全てを満たす学生 (1) 独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金、第二種奨学金、もしくは給付型の奨学金を取得している (2) 出発時に本学学部2年次以上に在籍する学生で、PEを取得しており、本プログラム参加に十分な能力と適性がある (3) 以下の大学公式プログラムへの参加を予定している 第2クォータープログラム、夏季短期プログラム、海外インターンシップ、海外クリニカル・クラークシップ、海外リサーチ・クラークシップ、医学科短期海外派遣プログラム
4. 渡航期間	大学公式プログラムの渡航期間 ※ただし令和6(2024)年度渡航のプログラムに限る
5. 補助金等	選考委員会にて合格者を決定し、下記の金額を支給します。 最大20万円 ※大学補助金及び後援会による助成金との併給は可とします
6. 募集人数	6名
7. 身分	身分異動はありません
8. 単位	各プログラムの基準に準じる
9. 海外旅行保険	危機管理上、海外旅行保険等は以下のとおり指定のものに加入すること。以下のもの以外は認められません。 ①学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」、金額は最大3,300円(4年間分)医学部は最大4,800円(6年間分)) ②大学の指定する海外旅行保険:1万円程度/月×渡航月数(期間により増減) ③トータルアシスタンスサービス(24時間365日体制の海外危機管理):80円程度/日×渡航日数 ※②③は合格決定後大学で加入手続きを行います ※上記金額は2022年度の金額を基に算出した目安です。情勢等により金額は変動します。

10. 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡航の目的、渡航先での学習計画を具体的にして、出願書類を作成すること。 ・ 保護者と十分に相談の上、渡航中の資金計画を立てること。 ・ 渡航中の活動や、帰国後の修業計画について、指導教員に十分相談の上、出願すること。 ・ 渡航にあたっては自主的に準備に取り組む必要があります。実際のビザ等の手続きも含め、自分自身が責任をもって行うべきであり、手続きの不備等で渡航が中止となった場合の責任は自身のものとなると同時に、補助金も返金となることについて認識を持つこと。 ・ 合格となった場合には、原則として辞退することはできません。 ・ 合格となった場合においても、申告に虚偽があった、書類提出の締切を守らない、必要な手続きを行わない、オリエンテーションに事前連絡なく欠席・遅刻する等のふるまいが見られた場合、国際交流委員会もしくはグローバル推進室が判断の上、渡航中止の勧告・警告もしくは決定を行う場合があります。 ・ 本プログラムの合格後、もしくは渡航後でも現地治安や衛生状況の悪化その他特別の事情により、渡航もしくは滞在に問題が生ずるとグローバル推進室が判断する場合、渡航の延期、中止や現地からの退避を指示する場合があります。この場合、速やかに当室からの指示に従ってください。また、外務省・海外安全HPにて、感染症危険情報及び危険情報でレベル2以上が発出されている国への渡航はできません。 ・ 生成系AI（Chat GPT等）を利用して応募書類を作成することは認めません。
11. 応募書類等	<p>(1) 志望理由 A4用紙2枚程度に①留学等の目的、②将来の展望(学習、研究、キャリア等)、③帰国後の本学・後輩への還元、などについて1,800文字以上2,000文字以内で記載。自由様式。</p> <p>(2) 「3. 応募要件」の(1)を示す書類</p>
12. 応募締切	令和6(2024)年5月6日(月) 23:59厳守(郵送不可)
13. 書類提出先	プログラム申込Formsにてアップロードし、ご提出ください。 ※申込FormsのURLは、HPIにて後日公開します。
14. 選考方法	提出書類、成績、書類選考により総合的に判断します
15. スケジュール	6月中旬合格発表予定
16. 帰国後の活動	帰国後は、報告書の提出や次期応募学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに大学プログラム経験者として広報活動に協力して頂きます。